



# 翔鷹

アブダビ日本人学校 学校だより

令和2年度  
3月号  
R3.3.1発行  
編集：教頭

## コロナ・いじめ・思いやり

教頭 佐藤 康二

ついに学校全面登校となりました。児童生徒がいてこそこのアブダビ日本人学校です。校内で元気なあいさつが交わされ、笑顔の対面授業ができる日常が戻りつつあります。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大が続いている状況は変わらず、みなさんは、**いつもとちがう生活を強いられる中で、いろいろな不安やストレスなどを感じている事でしょう。**校長先生が度々話される内容と重なりますが、今一度、コロナ禍のいじめ防止についてお話します。

みなさんは、日ごろ、コロナ感染予防のため、不要不急の外出、ソーシャルディスタンス、手洗いうがい、マスクの着用を守ってきました。でも、感染者数は増加して、絶対に防ぐことができるとは言い切れません。今後も私たち日本人学校の誰もが感染しないという保証はないのです。世界中がコロナ禍にあって、コロナに感染してしまった人やその家族などが、まわりの人からの思いやりのない言葉や行動によって、つらい思いをすることがあると言われていています。また、感染の恐れがある中、みんなの命や健康な生活を守るために、仕事をしていてくれる人たちへの差別や偏見が社会問題となっています。誰でも病気になることはあります。コロナウイルスは人に悪いウイルスですが、感染した人が悪い人ではありません。新型コロナウイルスに感染してしまった人を責めるのは間違いです。そこで、みなさんに以下の約束をお願いします。



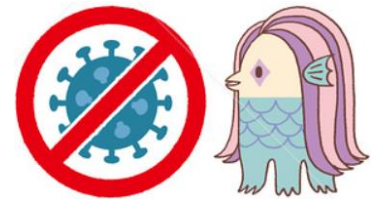
**まわりの人を思いやる気持ちや言葉で接します。**

**人がつらい思いをすることを言ったり、したりしません。**

**本当かどうかわからない情報やうわさを広めません。**

**もし、感染しても誰も責めません。**

**困ったときや、困っている人に気づいたときは、まわりの人**



**に相談します。**

未だ終わりが見えない新型コロナウイルス禍。人々の不安・ストレスが高まる時ほど、いじめや意地悪が噴出します。児童生徒の問題だけではなく、保護者教職員も自分自身を見直すべき問題として、ご家庭や身近なコミュニティ内でも話題にしていただければ幸いです。今までもこれからも、一人ひとりがやさしい気持ちで相手を思いやり、みんなで力を合わせてWithコロナ時代の困難や課題を克服しましょう。

私(教頭)のストレスは、コロナ禍のオンライン授業です。

自慢げに導入した電子黒板等ICT機器なのに自分がうまく使いこなせない苛立ちです。しかしどの先生も(授業中は児童生徒までも?)やさしく操作方法を教えてください。やさしい気持ちと思いやりのある学校なのです。アブダビ日本人学校は、いじめもコロナいじめも絶対おこさない事をみなさんで約束、実践していきましょう。

【 3月 March 】		主な行事（授業日数9）
1	月	
2	火	G6交流学習（東京女学館）
3	水	
4	木	学級懇談会
5	金	G6以上PCR検査
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	卒業式
11	木	修了式
12	金	春季休業日 始
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	春季休業日～4月10日
31	水	4月11日始業式・入学式

3月末で離任・帰国される先生方からメッセージをいただきました。新転地での益々の活躍を！



**久須美 克典 先生**

楽しい思い出のつまったアブダビを離れる時が来てしまいました。多くのよき出会いがあり、よき仲に支えられた4年間でした。アブダビ日本人学校は小学生から中学生まで仲良く、和気あいあいとした雰囲気代々受け継がれています。素直に、元気に学校生活を送っている子どもたちと共に過ごした時間は、とても幸せでした。これからも笑顔を絶やさずに頑張ってください。様々な面でご協力いただいた保護者の皆様、そしてアブダビ日本人学校に携わる全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。皆様とまたお会いできる日を楽しみに頑張っています。大変お世話になりました。お元気で。

**玉井 葉子 先生**



私の好きな漢字はたくさんありますが、その中でも「一」が好きです。一年生の教科書に最初に出てくる漢字です。一年生の「一」、一番はじめの「一」アブダビ日本人学校では4年間、一年生の担任でした。最初に一緒に勉強をした子どもたちは、4年生になりました。小学校に入学してからの1年間を、一緒に過ごせたことを幸せに感じています。全校の皆さんとは、音楽を通して一緒に学習することができました。全校で創り上げた、夏祭りや夏フェスの合奏。全校で心をつなげて演奏した「UAE国歌」や「校歌」。翔鷹祭の合唱や合奏。どれも心に残っています。保護者の皆様や日本人学校に携わってくださった皆様に心から感謝しております。素敵な4年間を、ありがとうございました。

**兼平 裕子 先生**



アブダビで過ごした3年間は、本当にあっという間でした。小学1年生から中学生まで、日本人もEmiratiも関係なく、みんなで1つになってたくさん行事に取り組んだ日々。そして、コロナに負けず、今できることをがんばっている子どもたち。子どもたちの笑顔から元気をもらう毎日をとても幸せに過ごさせていただきました。ありがとうございます。日々の教育活動と子どもたちの笑顔を支えて下さった保護者の皆様、日本人学校に携わる全ての皆様に感謝申し上げます。また、いつかどこかでお会いできる日を楽しみにしています。このアブダビで出会えた奇跡に感謝して…。

**根本 優子 先生 (NPO)**



エミラティ児童生徒の支援担当として3年間勤務いたしました。エミラティの支援をしながら、授業や行事等で日本人児童生徒と関わることもできました。元気いっぱいのエミラティと、それを笑いながら温かく応援してくれる日本人の絶妙な関係性が、この学校の素晴らしさの一つだと感じています。保護者の皆様、教職員の皆様には大変お世話になりました。今後もアブダビ日本人学校の子供たちがより一層広い視野を持ち、世界に羽ばたいていくことを願っています。

\* 幼稚園の木口屋 貴子 先生 (NPO)も離任・帰国されます。

**コロナ禍対応 卒業式・入学式について**

- ◎3月10日（水）卒業式は G6,G9 児童生徒と保護者(2名まで) および、教職員参列のもと本校講堂にて実施いたします。
- ◎4月11日（日）入学式～1週間(4月15日まで)は、新派遣教員(担任4名)が着任後10日間の自宅待機期間と重なるため、オンラインで実施する予定です。

## プノンペン日本人学校との交流会

2月2日(火)にG7.8がプノンペン日本人学校の生徒とオンラインで交流しました。パワーポイントで、アブダビ日本人学校について、アブダビの観光地、気候、食べ物、ラクダレース、カンドゥーラ、イスラム教について発表しました。カンボジアについての発表を聞いた後は、コロナの現状やそれぞれの国についてざっくばらんに話をしました。2時間の交流は、時間が足りないと感じるほど有意義なものとなりました。



2/24.25 日にかけて、**エミラティ児童生徒による朗読大会**が行われました。

おのの児童生徒が教科書の中からお気に入りの箇所を選び、気持ちを込めて朗読しました。

今回の朗読大会は三部門に分かれ、低学年の部はG2のファティマさん、中学年の部はG5 ナヒヤーンさん、中学生の部ではG8 アフマドさんが優勝しました。みなさん素晴らしい発表でした。

今回入賞できた人もできなかった人も、この経験を日々の日本語の学習に生かして行ってほしいです。

